



島根県の経済情勢

令和 7 年 1 月 30 日

財務省中国財務局
松江財務事務所

本調査についてのお問い合わせ先
財務省中国財務局
松江財務事務所 財務課長 飯野
電話 (0852) 21-5231 (内線 4630)



ざいちゅう

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、緩やかに持ち直している」

| 項目 | 前回（6年10月判断） | 今回（7年1月判断） | 前回比較 |
|------|-------------|-------------|------|
| 総括判断 | 緩やかに持ち直している | 緩やかに持ち直している | → |

（注）7年1月判断は、前回6年10月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、持ち直している。生産活動は、一部に弱い動きがみられ、一進一退の状況にある。雇用情勢は、持ち直しの動きに一服感がみられる。

【各項目の判断】

| 項目 | 前回（6年10月判断） | 今回（7年1月判断） | 前回比較 |
|--------|------------------------|------------------------|------|
| 個人消費 | 持ち直している | 持ち直している | → |
| 生産活動 | 一部に弱い動きがみられ、一進一退の状況にある | 一部に弱い動きがみられ、一進一退の状況にある | → |
| 雇用情勢 | 持ち直しの動きに一服感がみられる | 持ち直しの動きに一服感がみられる | → |
| 設備投資 | 6年度は前年度を下回る見込み | 6年度は前年度を下回る見込み | → |
| 企業収益 | 6年度は増益見込み | 6年度は増益見込み | → |
| 企業の景況感 | 「上昇」超に転じている | 「上昇」超幅が縮小している | → |
| 住宅建設 | 前年を上回る | 前年を下回る | ↘ |
| 公共事業 | 前年度を上回る | 前年度を下回る | ↘ |

【先行き】

先行きについては、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、アメリカの政策動向、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「持ち直している」

ドラッグストア販売は、医薬品などが好調であり、前年を上回っている。コンビニエンスストア販売は、飲料などが好調であり、前年を上回っている。

一方、百貨店・スーパー販売は、百貨店の閉店による影響のほか、衣料品などが低調であり、前年を下回っている。ホームセンター販売は、園芸用品などが低調であり、前年を下回っている。乗用車販売（新車登録・届出台数）は、軽乗用車などが低調であり、前年を下回っている。

また、主要観光施設及び主要温泉地の入込客数は、好調な旅行需要の下で、前年を上回っている。

(主なヒアリング結果)

- インフルエンザ等の流行に応じて、風邪薬やマスクを買い求める動きが活発化している。(ドラッグストア)
- 残暑が長引いた影響で、冷たい飲料やアイスなどが好調であった。また、気温が低下して以降も、販促施策の効果もあって、ホット飲料がよく売れている。(コンビニエンスストア)
- 厳しい残暑の影響で、10月頃まで秋物衣料の動きが顕著に鈍かった。なお、11月中旬以降は、気温の低下が感じられるようになったことに加え、ブラックフライデー商戦もあり、冬物衣料などがよく売れた。(スーパー)
- 高温が続いたことで、花苗や種芋など園芸用品の需要が乏しく、売上げが前年を割っている。(ホームセンター)
- 軽自動車は、グレードやカラーバリエーションの豊富さが裏目に出て、需給にミスマッチが生じ、納期が伸びていることなどから、前年比で落ち込んでいる。(自動車販売)
- 経費増加分の価格転嫁を進めているが、客室稼働率は高水準で推移しているほか、客数も前年を上回っている状況であり、依然として旅行需要は旺盛と感じる。(宿泊)
- 県外からの観光客による利用が凄まじく、コロナ前を上回るほど大幅に客数が増加している店舗があるなど、売上げが伸びている。忘年会の予約も順調で、年末に向けてさらなる伸長が期待できる。(飲食)

■ 生産活動 「一部に弱い動きがみられ、一進一退の状況にある」

窯業・土石は、公共工事向けの受注が低調なことなどから、減少している。輸送機械は、完成車メーカーにおける一部車種の生産停止による影響などから、減少している。汎用・生産用・業務用機械は、国内外の需要不振などから、減少している。電子部品・デバイスは、自動車向けの需要が堅調なものの、スマートフォン向けの受注が低調なことなどから、概ね横ばいとなっている。鉄鋼・非鉄金属は、船舶関連向けの需要が堅調なものの、自動車関連向けの需要回復が鈍いことなどから、概ね横ばいとなっている。

一方、電気機械・情報通信機械は、法人向けの更新需要が好調なことなどから、増加している。

- 災害復旧事業の関連需要など、公共工事向けの受注が低調で、生産量が軒並み落ち込んでいる。(窯業・土石)
- 完成車メーカーにおける一部車種の生産停止に伴い、一部ラインの稼働を停止しており、減産傾向にある。(輸送機械)
- 国内外の市場において、依然としてユーザーの投資意欲に回復の兆しがみられず、在庫過多となっていることから、計画に対して生産実績が下振れている。(汎用・生産用・業務用機械)
- 自動車向けは、電動化・電装化の進展などに伴い増産に動いているが、スマートフォン向けは、上期に受注が復調して生産高が伸びた反動から、下期に落ち込んでいる。(電子部品・デバイス)
- 環境対応などに伴う造船業界の活況を受け、船舶機器向け鋳物部品の需要が好調であり、生産量が増加している。(鉄鋼・非鉄金属)
- 自動車関連向けは、中国市場における日系メーカーの苦戦が大きく影響して需要の回復が鈍く、生産量が若干減少している。(鉄鋼・非鉄金属)
- 法人向けの機器更新受注が旺盛で、上期と比べても生産が上向いている。(電気機械・情報通信機械)

■ 雇用情勢 「持ち直しの動きに一服感がみられる」

有効求人倍率は、横ばいとなっている。また、法人企業景気予測調査（6年10-12月期）の従業員数判断BSIをみると、「不足気味」超幅は縮小している。

- 地場の中小企業を中心に、既存スタッフを繋ぎ止める傾向が強まっている印象。加えて、少しでも自社にマッチした人材であれば、有期契約から無期契約や直接雇用への転換を図る動きが増えている。(人材派遣)
- 特定技能制度による外国人材の受入れを目指し、給与面のほか、働きやすい職場づくりや生活環境面の整備も進めるなど、魅力が感じられ、選んでもらえる待遇となるように検討を進めている。(小売)
- 安定的な人材確保が難しい中、DX化は必須であり、品質管理へのAI導入や工程の自動化などを進めている。(木材・木製品)

■ 設備投資 「6年度は前年度を下回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年10-12月期

- 製造業は、鉄鋼などで増加するものの、情報通信機械や木材・木製品などで減少することから、全体では減少見込みとなっている。
- 非製造業は、金融、保険などで減少するものの、小売や運輸、郵便などで増加することから、全体では増加見込みとなっている。

- 今年度は生産設備の維持更新や合理化などが中心で、新棟建設による生産能力増強を行った前年度と比べると減少する計画。(情報通信機械)
- 一部店舗の移転新築や建替えに加え、老朽化した物流拠点の更新などの建設投資が主。(小売)

■ 企業収益 「6年度は増益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年10-12月期

- 製造業は、情報通信機械などで減益となるものの、鉄鋼や生産用機械などで増益となることから、全体では増益見込みとなっている。
- 非製造業は、情報通信などで増益となるものの、サービスや建設などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『上昇』超幅が縮小している」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年10-12月期

- 企業の景況判断 BSI は、「上昇」超幅が縮小している。なお、先行きは、「下降」超に転じる見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回る」

- 新設住宅着工戸数でみると、持家などが増加しているものの、貸家が減少していることから、前年を下回っている。

■ 公共事業 「前年度を下回る」

- 公共工事前払金保証請負金額(年度累計)でみると、市町村などで増加しているものの、国、県などで減少していることから、前年度を下回っている。

島根県の経済情勢

資料編

| 目次 | ページ |
|-----------|-----|
| 1. 個人消費 | 1 |
| 2. 生産活動 | 3 |
| 3. 雇用情勢 | 4 |
| 4. 設備投資 | 5 |
| 5. 企業収益 | 5 |
| 6. 企業の景況感 | 6 |
| 7. 住宅建設 | 6 |
| 8. 公共事業 | 6 |

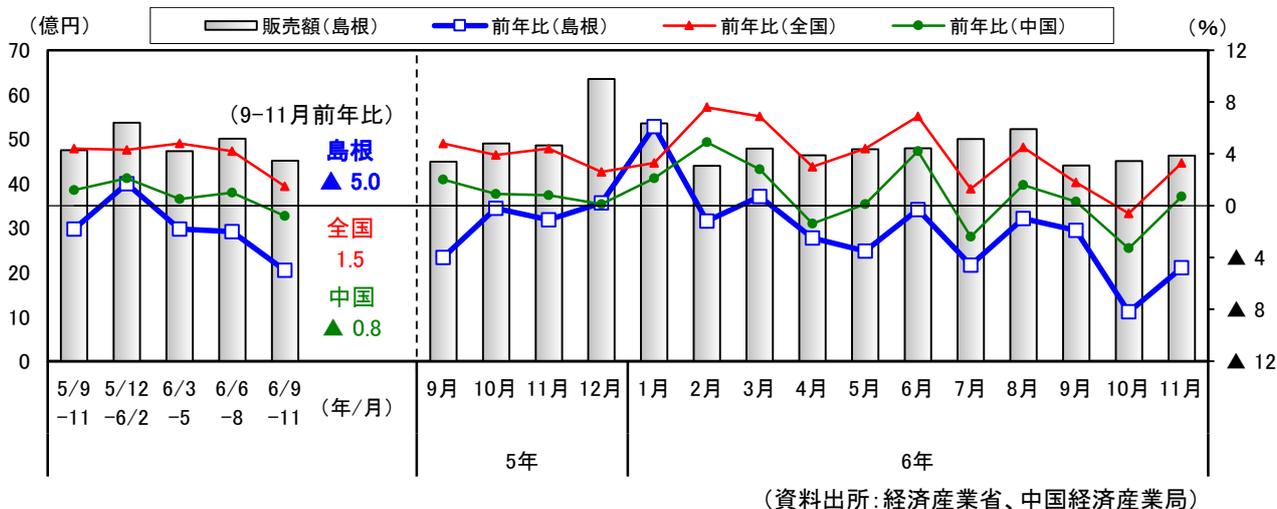
※ 本資料のグラフは各機関の公表数値を基に作成している。なお、公表されていない一部項目の数値については、当所で算出している。

本調査についてのお問い合わせ先
財務省中国財務局
松江財務事務所 財務課長 飯野
電話 (0852)21-5231(内線 4630)

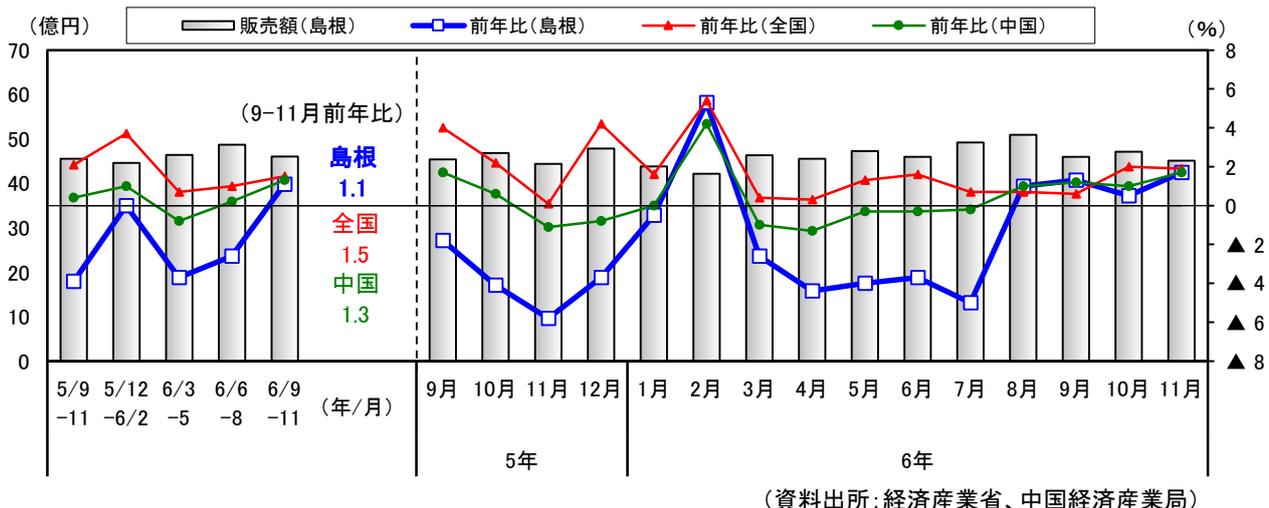
1. 個人消費 持ち直している

(注) (1)～(5)の各グラフの3か月毎の販売額は、1月あたりの平均を表示

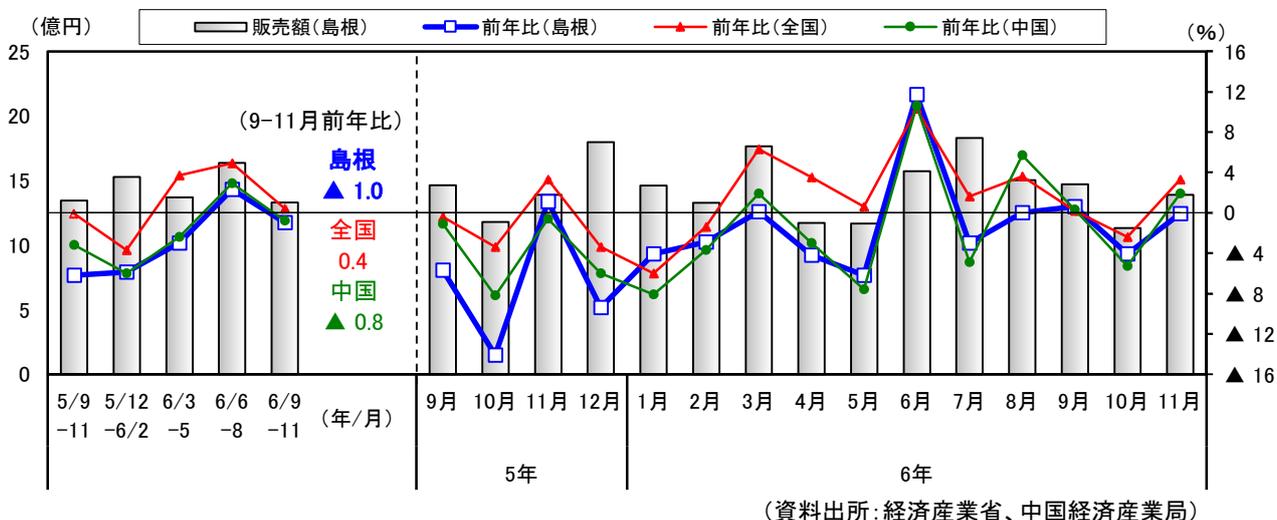
(1)百貨店・スーパー販売額(全店舗)



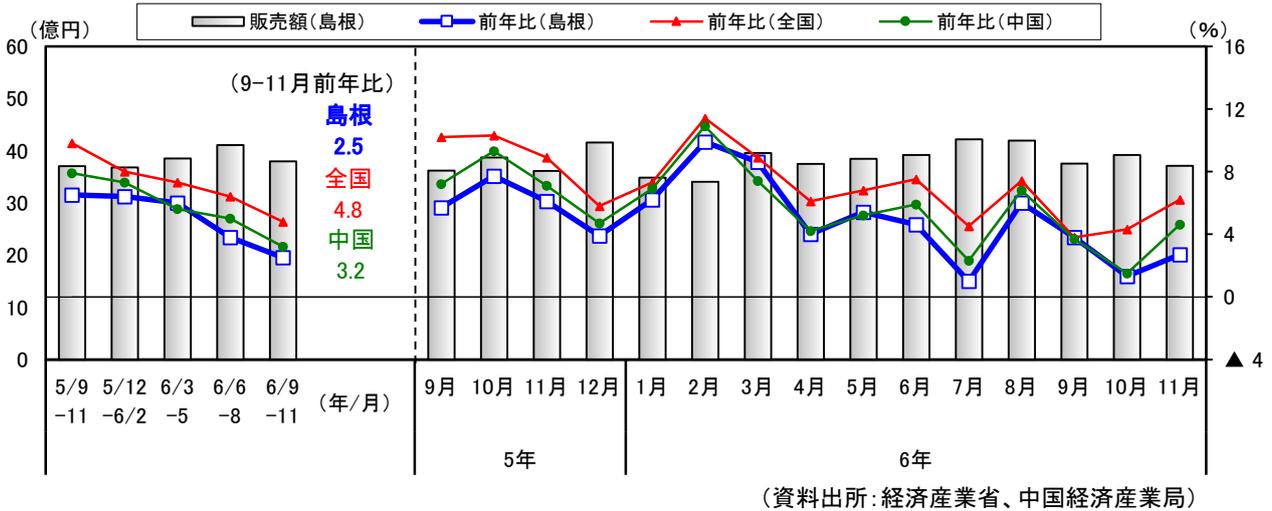
(2)コンビニエンスストア販売額(全店舗)



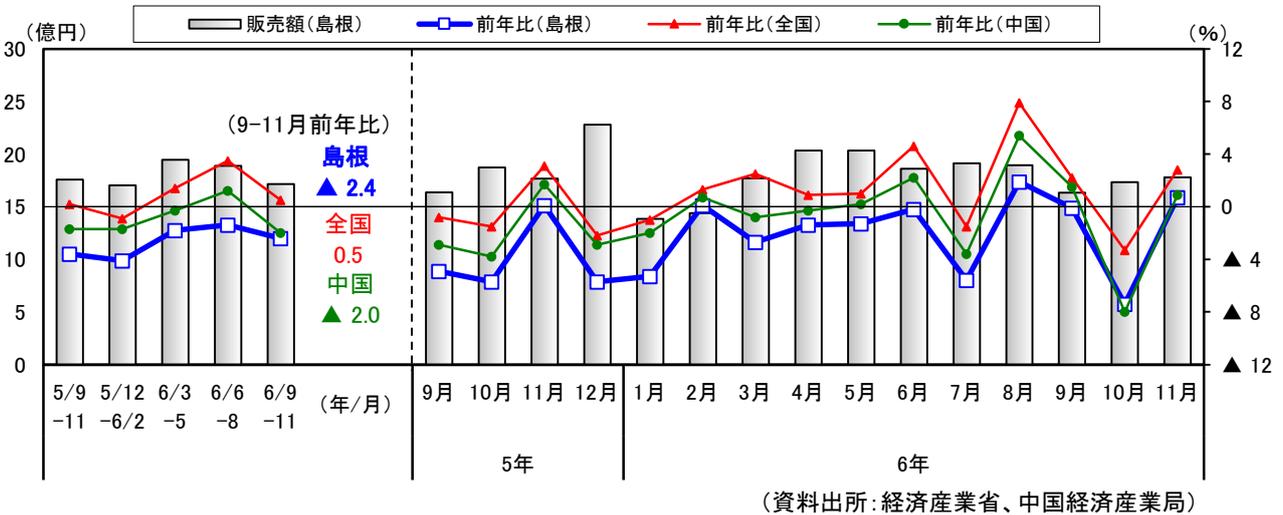
(3)家電大型専門店販売額(全店舗)



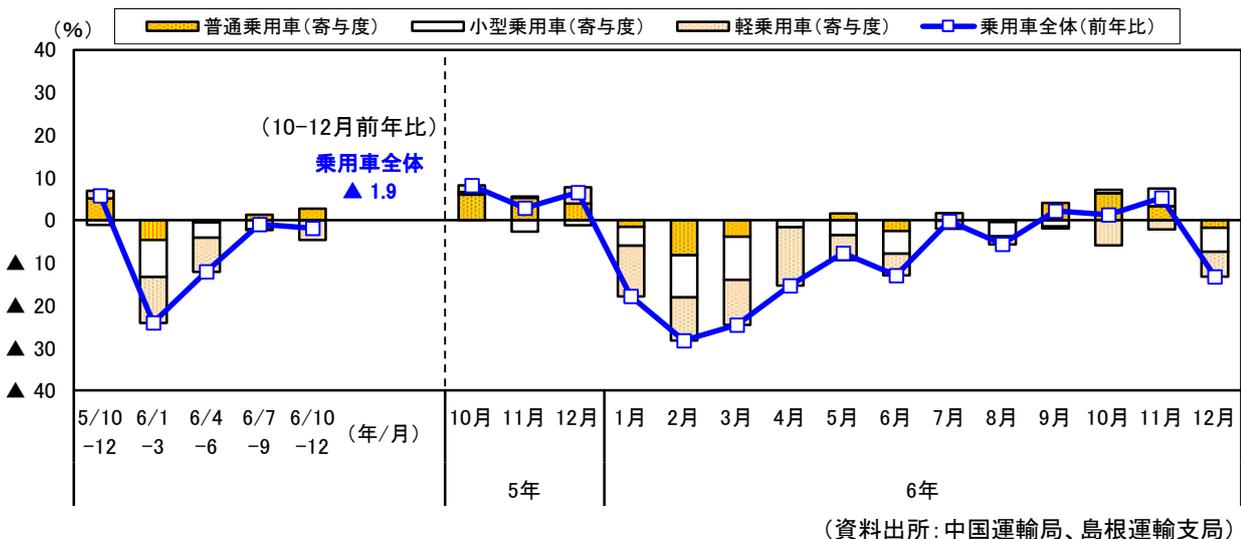
(4)ドラッグストア販売額(全店舗)



(5)ホームセンター販売額(全店舗)



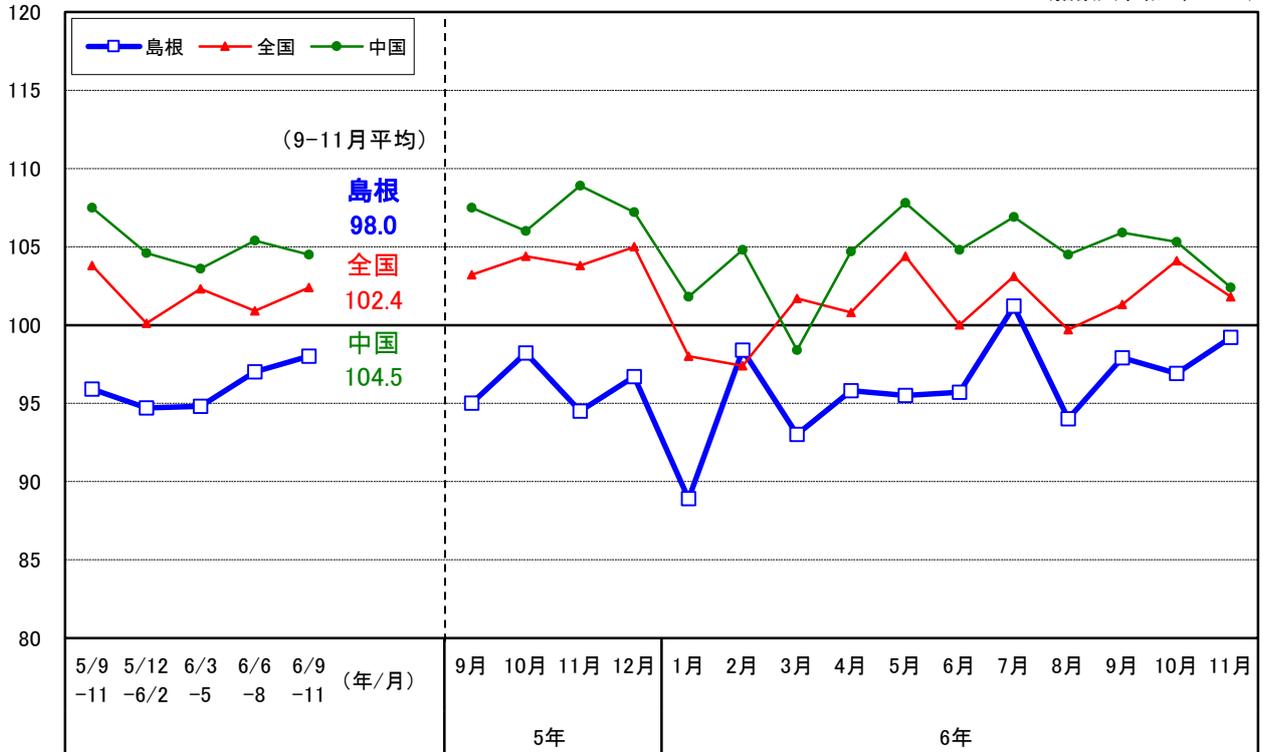
(6)乗用車販売(新車登録・届出台数)



2. 生産活動 一部に弱い動きがみられ、一進一退の状況にある

(1) 鉱工業生産指数(季節調整値)

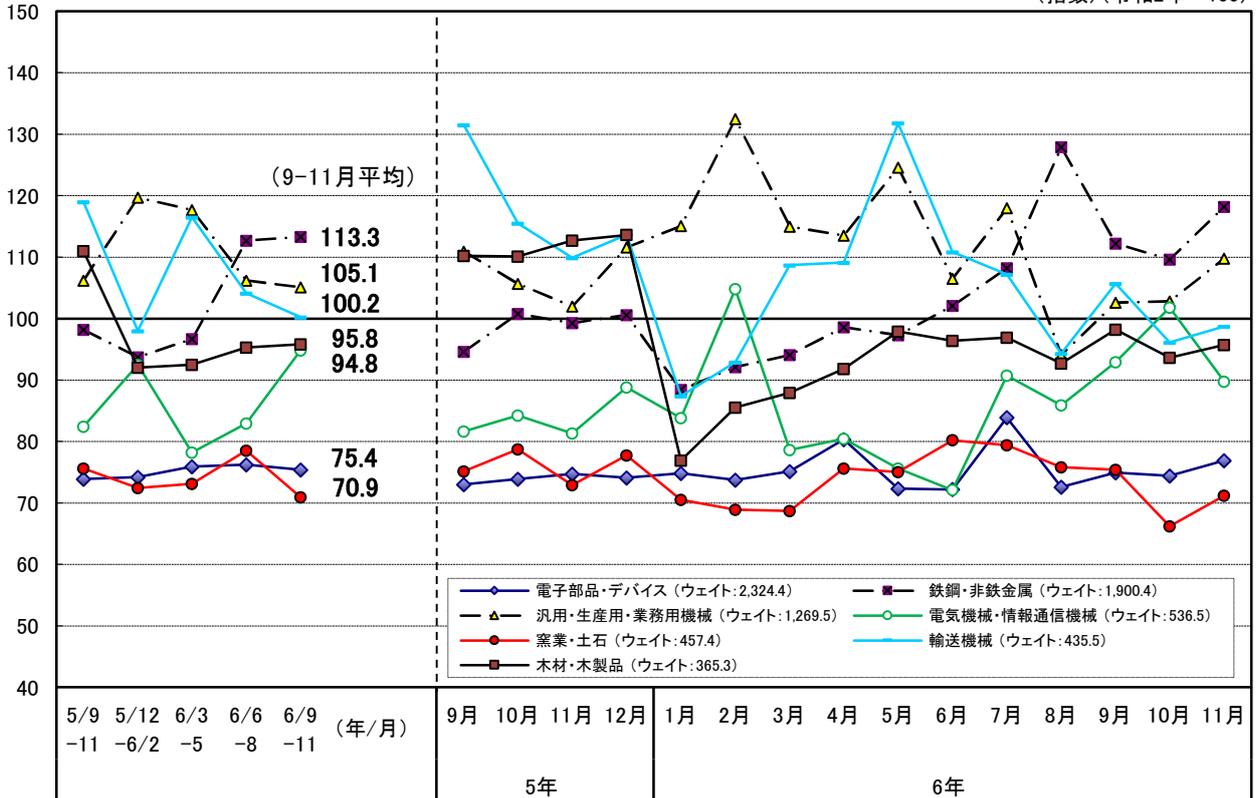
(指数) (令和2年=100)



(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局、島根県統計調査課)

(2) 県内主要業種別生産指数(季節調整値)

(指数) (令和2年=100)

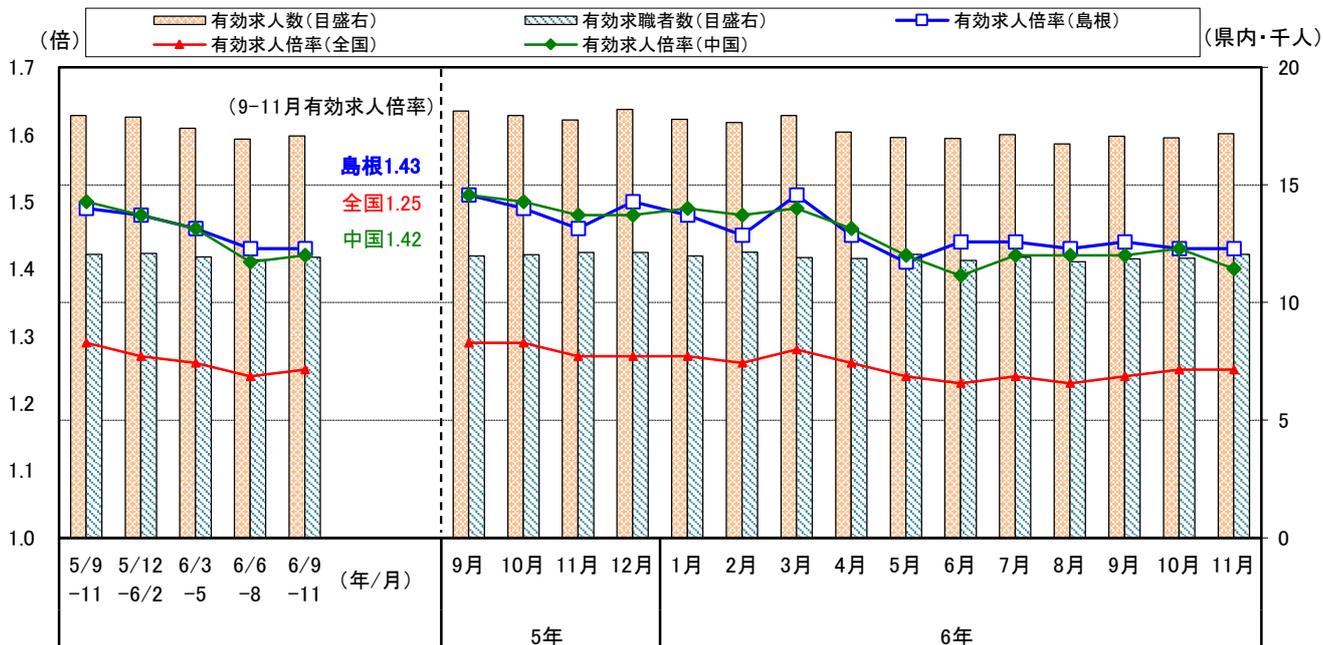


(資料出所: 島根県統計調査課)

3. 雇用情勢 持ち直しの動きに一服感がみられる

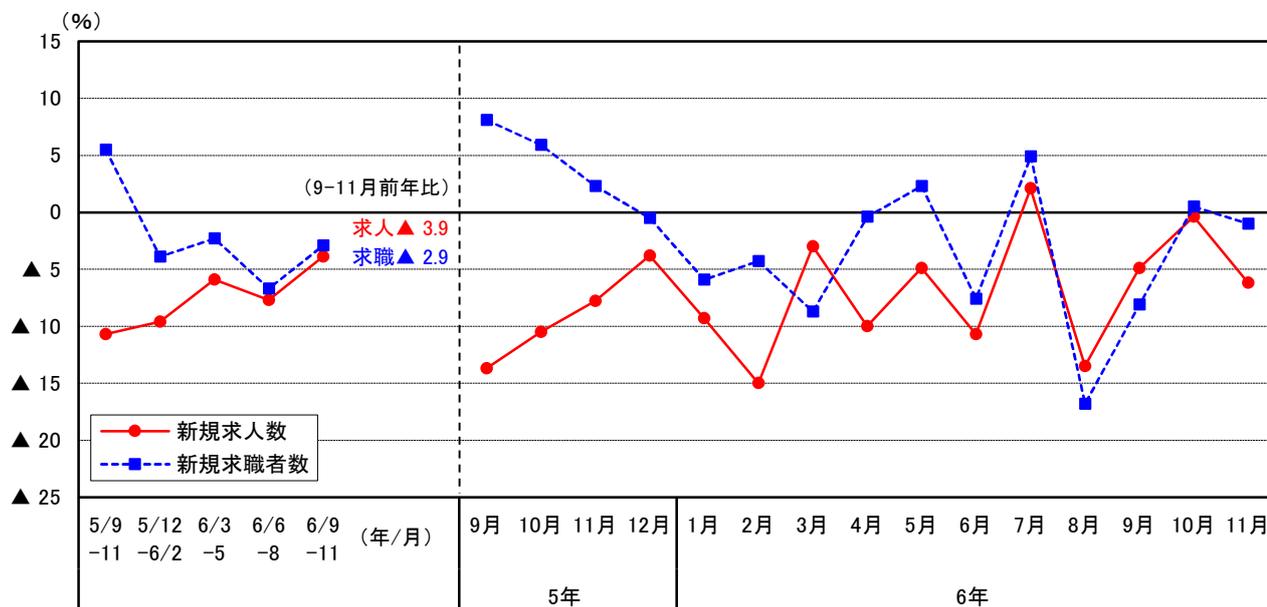
(注) (1)のグラフの3か月毎の有効求人人数と有効求職者数は、1月あたりの平均を表示

(1) 有効求人倍率、有効求人人数・求職者数(学卒を除く、季節調整値)



(資料出所:厚生労働省、島根労働局)

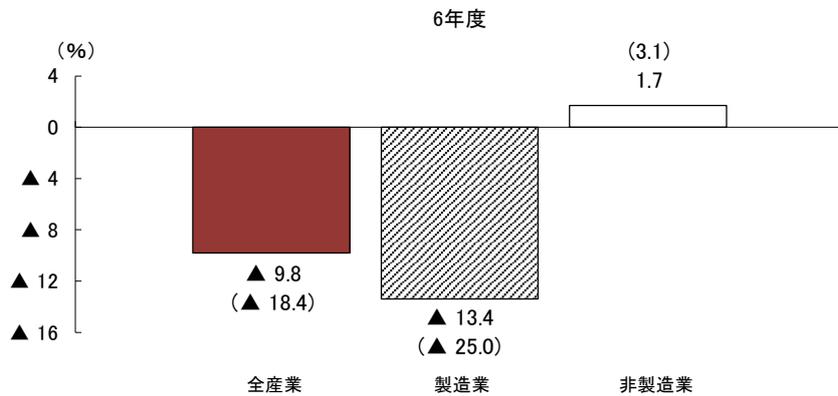
(2) 県内新規求人人数・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比



(資料出所:島根労働局)

4. 設備投資 6年度は前年度を下回る見込み

設備投資の前年度比増減率

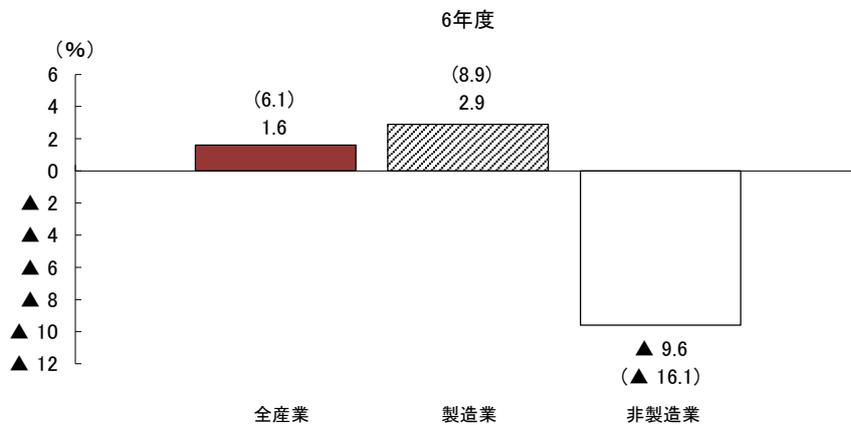


- (注) 1. 法人企業景気予測調査(6年10-12月期)結果
 2. 土地購入額を除き、ソフトウェア投資額を含む。
 3. ()書きは前回(6年7-9月期)調査結果

(資料出所: 松江財務事務所)

5. 企業収益 6年度は増益見込み

経常利益の前年度比増減率

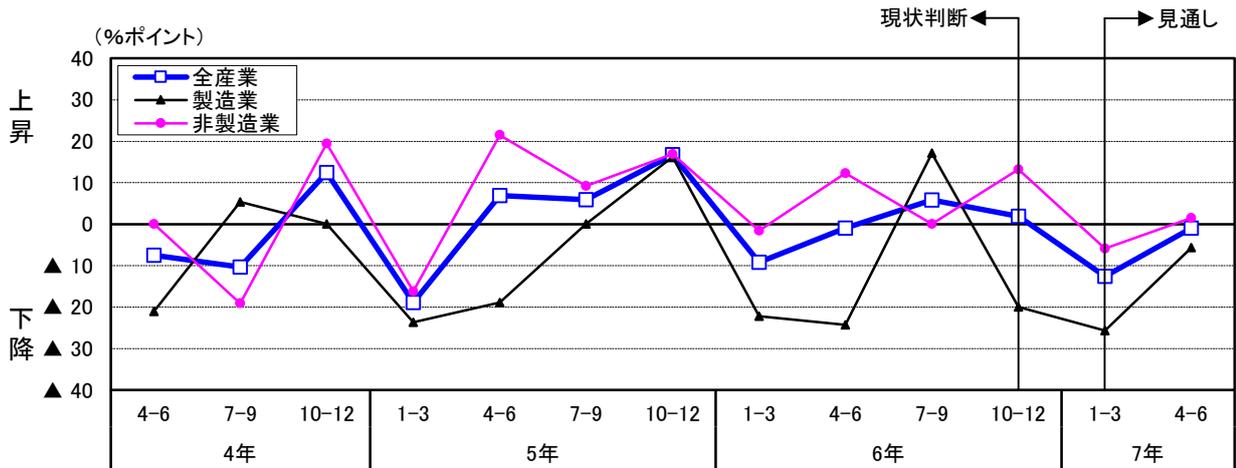


- (注) 1. 法人企業景気予測調査(6年10-12月期)結果
 2. 電気・ガス・水道業及び金融業、保険業を除く。
 3. ()書きは前回(6年7-9月期)調査結果

(資料出所: 松江財務事務所)

6. 企業の景況感 「上昇」超幅が縮小している

景況判断BSIの推移(原数値)(BSI:前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)

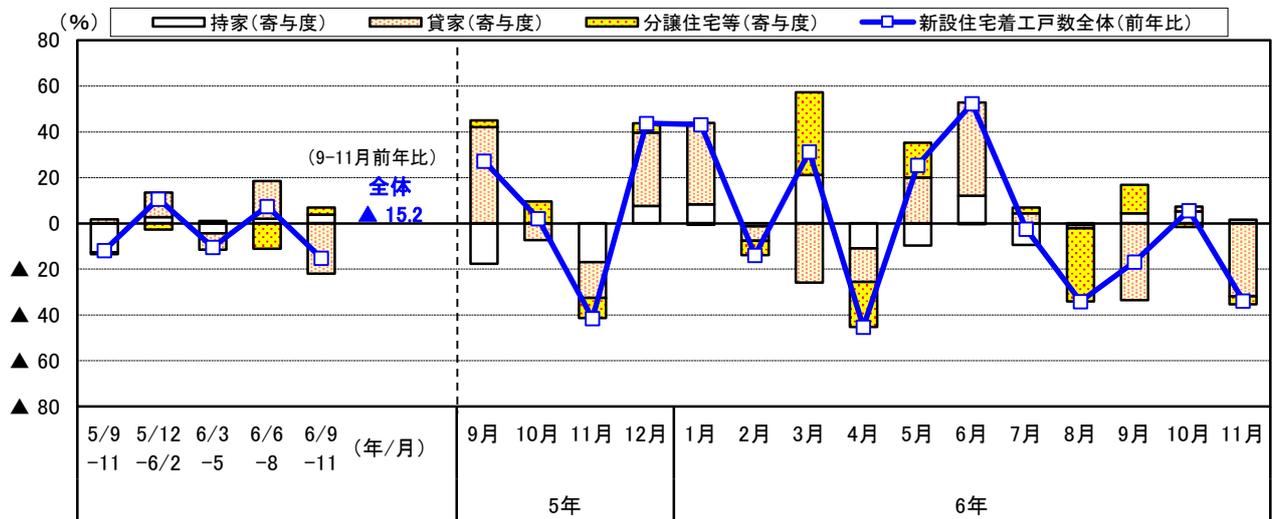


(注) 法人企業景気予測調査(6年10-12月期)結果

(資料出所: 松江財務事務所)

7. 住宅建設 前年を下回る

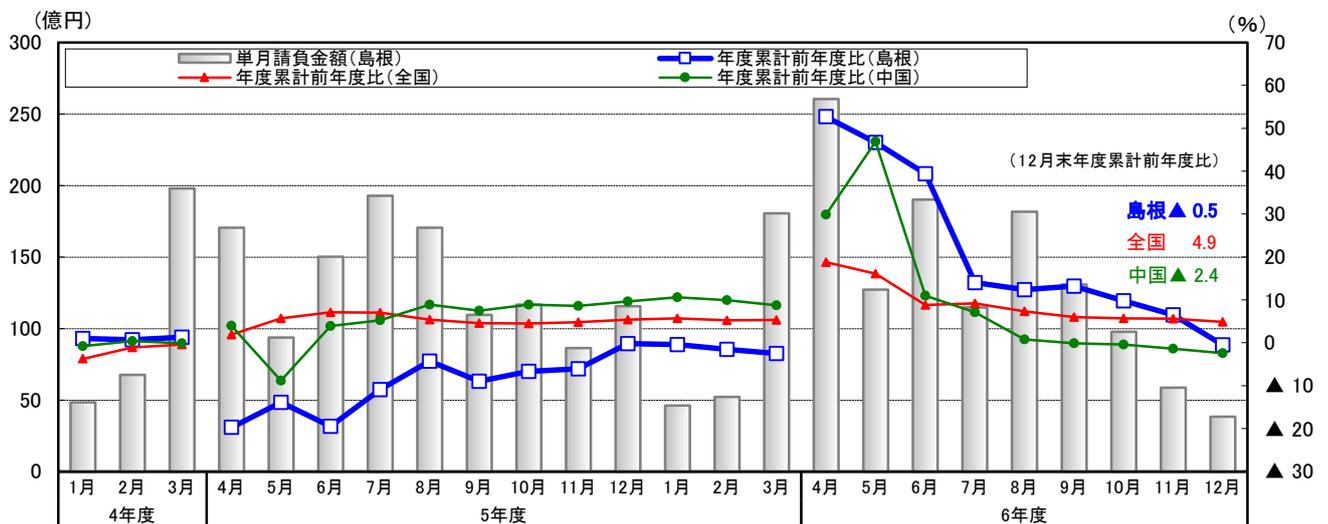
新設住宅着工戸数(前年比)



(資料出所: 国土交通省)

8. 公共事業 前年度を下回る

公共工事前払金保証請負金額(年度累計前年度比)



(資料出所: 各建設業保証(株))